

第209回 教育研究評議会議事録

I 日 時 令和4年7月21日(木) 14:00~15:25

II 出席者 評議員 永田、加藤(光)、和田、金保、BENTON、奈良、加藤(和)、原、溝上、太田、池田、竹中、江面、新井、杉本、大淵、初貝、遠藤、中田、大倉、土井、樋口、菅谷、受川、河辺、田中(誠)、木塚、田中(佐)、山中(弘)、関根、服部、吉瀬、田中、井田、西保、野中、川上、歳森、猿渡、大根田、坪内、辻村、梅村、日野、朴、深水、加賀、山中(敏)

III 議 題

[審 議]

- 1 令和5年度学年暦について ----- [審議1資料]
- 2 人文社会ビジネス科学学術院法曹専攻の法科大学院課程修了日について ----- [審議2資料]
- 3 教学マネジメント室規程の改正について ----- [審議3資料]
- 4 令和5年度以降の入学選抜に係る基本的事項(7月公表分)について ----- [審議4資料]
- 5 令和7年度入試の対応について ----- [審議5資料]

[報 告]

- 1 第131回経営協議会報告について ----- [報告1資料]
- 2 令和5年度国立大学法人運営費交付金概算要求について ----- [報告2資料]
- 3 国立大学法人筑波大学債の発行等の認可について ----- [報告3資料]
- 4 令和3年度教育研究基盤経費の執行状況報告について ----- [報告4資料]
- 5 令和4年度の教育関係共同利用拠点の申請について ----- [報告5資料]
- 6 令和4年度(4~6月)ハラスメント苦情相談・コンプライアンス通報状況について ----- [報告6資料]
- 7 Tsukuba Global Science Week (TGSW)2022の開催について ----- [報告7資料]
- 8 学生の懲戒について
- 9 その他

IV 議 事

[審 議]

1~5 審議1資料~同5資料に基づく審議の結果、それぞれ原案どおり承認された。

[報 告]

- 1 報告1資料に基づき、報告があった。
- 2 報告2資料に基づき、報告があった。

永田学長から、今回の要求は部局からの提案を本部と部局が協同してブラッシュアップして作成したものがいくつかあり、次年度についても、部局からの提案を要求事項に盛り込めるように、各部局

で早々に検討を始めてほしい旨依頼があった。

3 報告3資料に基づき、報告があった。

4 報告4資料に基づき、報告があった。

これに関して、和田副学長から、教育研究基盤経費が年々減少しているため、組織運営がしやすいように、系と教育組織間で柔軟に経費比重を調整してほしい旨補足があり、永田学長から、その際には教育組織と対応した主たる系以外の所属の担当教員の存在にも留意して、適切に配分等行っていただきたい旨発言があった。

5 報告5資料に基づき、報告があった。

6 報告6資料に基づき、報告があった。

これに関連して、加藤（和）副学長から、「ハラスメント防止に関する就業規則」中のハラスメント防止に関する文言を、努力義務的なものから、より厳格な義務的な文言に改正予定である旨発言があった。

7 報告7資料に基づき、報告があった。

8 学生の懲戒について、口頭で報告があった。

9 永田学長から、以下のとおり発言があった。

- ・学群の機能が薄れてきていると感じており、学群の再活性化を目指して、研究と教育の双方に責任を持つ系長を学群の会議等に参加させてほしい。
- ・日本における18歳人口の減少により、学生定員を減らさずに優秀な学生に入学してもらうためには、入試制度改革を行う必要があるが、入試の変更内容は原則2年前に公表しなければならないため、第5・6期中期目標期間での実施に向けて今から議論を始めた。

以上